

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和2年12月23日

計画の名称	元気で安全・安心な兵庫の道づくり（防災安全・連続立体交差事業）			重点計画の該当	○
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）	交付団体	兵庫県		
計画の目標					

連続立体交差事業によって、人やモノの安全で快適な移動の障害となっている開かずの踏切の除却を推進する。

計画の成果目標（定量的指標）	①鉄道と道路が立体交差化することによる踏切遮断交通量（自動車）の削減 ②鉄道と道路が立体交差化することによる踏切遮断交通量（歩行者＋軽車両）の削減				
----------------	------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H32末)	
①事業区間内にある踏切の踏切遮断交通量（自動車）を削減する 事業区間内にある踏切の踏切遮断交通量（自動車）を平成25年と比較して10割削減する 踏切遮断交通量（自動車） 平成28年 111,041台時 → 平成32年 0台時 ※H26年時点では185,069台時	111,041台時	0台時	0台時	H27.3に上り線高架切替済
②事業区間内にある踏切の踏切遮断交通量（歩行者＋軽車両）を削減する 事業区間内にある踏切の踏切遮断交通量（歩行者＋軽車両）を平成25年と比較して10割削減する 踏切遮断交通量（歩行者＋軽車両） 平成28年 99,154人台時 → 平成32年 0人台時 ※H26年時点では165,257人台時	99,154人台時	0人台時	0人台時	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	4,964 百万円	A	4,964 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	--------------	---	--------------	---	----------	---	----------	---	----------	---------------------------	------

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H28	H29	H30	H31	H32		
	街路	一般	兵庫県	直接		S街路	改築	阪神本線連続立体交差事業（鳴尾駅付近）	連続立体交差 L=1.9km	西宮市						4,964	
合計																4,964	

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H28	H29	H30	H31	H32		
合計																0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H28	H29	H30	H31	H32		
合計																0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H25	H26	H27	H28	H29				
合計																0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期																
事後評価の実施体制																
兵庫県県土整備部で評価																
事後評価の実施時期																
令和2年12月																
公表の方法																
ホームページ																

○事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

・阪神本線連続立体交差事業（鳴尾駅付近）により、踏切除却による渋滞解消や幹線道路の交通容量拡大など、円滑な道路交通が確保された。

II 定量的指標の発現状況	指標①鉄道と道路が立体交差化することによる踏切遮断交通量（自動車）の削減	最終目標値	0台時	目標値と実績値に差が出た要因	(目標達成)
		最終実績値	0台時		
II 定量的指標の発現状況	指標②鉄道と道路が立体交差化することによる踏切遮断交通量（歩行者＋軽車両）の削減	最終目標値	0人台時	目標値と実績値に差が出た要因	(目標達成)
		最終実績値	0人台時		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

高架下の利活用や地域の分断解消により、まちづくりの発展に寄与した。

○特記事項（今後の方針等）